

研究課題名	HCV 感染肝癌根治切除症例における DAA 治療 SVR の影響についての研究
研究実施機関名および研究責任者 (所属科、職名等)	さいたま赤十字病院 消化器外科 部長 新村兼康
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院 消化器外科部長 新村兼康
研究期間	2025 年 4 月 1 日 ~ 2027 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	C 型肝炎ウイルス (HCV) 感染症例においては、直接作用型抗ウイルス薬 (DAA) 治療の時代となり、ほぼ全例で HCV の排除 (SVR) が可能となった。しかし、インターフェロン (IFN) を使用しない DAA のみによる治療が、IFN 治療と同等の肝発癌抑制効果を示すか、また肝疾患関連死 (肝不全発生/肝癌発生) をどの程度抑制できるかなど、十分なエビデンスは得られていない。これを明らかにするため、当施設で行った HCV 感染肝癌根治切除症例について、DAA 治療 SVR の影響について調査・解析する。
本研究の対象となる方	2015 年 4 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日の期間で、当施設で HCV 感染肝癌根治切除を受けられた方
提供していただく情報	性別、年齢 (手術時)、BMI、既往・治療歴、手術前情報 (血液検査結果・理学所見)、画像診断情報、手術情報、病理検査結果、手術後治療情報、手術後情報 (血液検査結果・理学所見)、予後データ 等
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	電子カルテを用いて過去の診療録を検索し別媒体に匿名化したうえで記録する、患者の個人情報が院外へ漏れないように充

	分配慮する.
問合せ先 (拒否等の受付窓口)	<b>【研究担当者】</b> 所属：さいたま赤十字病院 消化器外科 部長 氏名：新村 兼康 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111